



## 平成30年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年9月4日

上場会社名 モロゾフ株式会社  
 コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 078-822-5000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年1月期第2四半期の業績(平成29年2月1日～平成29年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	14,152	1.8	1,249	30.2	1,313	28.3	891	39.9
29年1月期第2四半期	13,901	3.1	960	110.6	1,023	82.5	637	84.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	248.81	—
29年1月期第2四半期	176.96	—

※平成29年8月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第2四半期	21,807	14,816	67.9
29年1月期	22,546	14,343	63.6

(参考)自己資本 30年1月期第2四半期 14,816百万円 29年1月期 14,343百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成30年1月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成30年1月期の業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	0.5	2,150	7.0	2,200	6.4	1,450	18.2	404.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年1月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年1月期2Q	3,669,226 株	29年1月期	3,669,226 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年1月期2Q	95,787 株	29年1月期	75,433 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年1月期2Q	3,581,936 株	29年1月期2Q	3,600,148 株
----------	-------------	----------	-------------

※平成29年8月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しましては、3ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。  
なお、平成29年8月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
3. 補足情報 .....	8
販売実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、欧米・東アジアの政治や経済情勢の不確実性への懸念など先行き不透明感はあるものの、企業収益の改善に加え、雇用・所得環境の改善を背景にした個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は企業スローガン『こころつなが。笑顔かがやく。』を掲げ、お菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、百貨店の閉鎖による減少はあったものの、バレンタインデーなどのイベント商戦の好調に加え、焼菓子やカスタードプリンが順調な売上を維持したこともあり、当第2四半期累計期間の売上高は14,152百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

損益面におきましては、増収効果に加えて、生産性の向上により売上原価率が改善し、営業利益は1,249百万円(前年同期比30.2%増)、経常利益は1,313百万円(前年同期比28.3%増)、四半期純利益は891百万円(前年同期比39.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタインデーをはじめとするイベント商戦の好調に加え、平成28年9月にリニューアルした「アルカディア」などの焼菓子が堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。洋生菓子につきましては、カスタードプリンが誕生55周年を記念した商品の販売効果などにより好調に推移したものの、半生菓子、ケーキなどがやや苦戦したため、前年同期を下回る売上高となりました。

その結果、当事業の売上高は13,312百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

## [喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、一部店舗の退店に伴う売上減少はあったものの、喫茶と菓子売店を併設した「カフェモロゾフ 明石ビブレ店」(兵庫県明石市)や「カフェモロゾフ イオンSENRI TO店」(大阪府豊中市)の新規出店などにより売上拡大を図り、売上高は839百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ739百万円減少し、21,807百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額2,672百万円、仕掛品の増加額665百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,232百万円、商品及び製品の減少額1,486百万円、有価証券の減少額699百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ1,212百万円減少し、6,990百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額856百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ473百万円増加し、14,816百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額639百万円、自己株式の取得による減少額116百万円等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ2,672百万円増加し、当第2四半期会計期間末には4,255百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少、たな卸資産の減少、仕入債務の減少等により、2,906百万円の収入(前年同四半期累計期間は2,707百万円の収入)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出、有価証券の売却及び償還による収入、有形及び無形固定資産の取得による支出等により、132百万円の収入(前年同四半期累計期間は1,885百万円の支出)となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、自己株式の純増加により、366百万円の支出(前年同四半期累計期間は379百万円の支出)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、平成29年7月28日に公表いたしました平成30年1月期の通期の業績予想の修正を行っております。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,250	2,100	2,150	1,400	389円94銭
今回修正予想 (B)	29,300	2,150	2,200	1,450	404円81銭
増減額 (B-A)	50	50	50	50	
増減率 (%)	0.2	2.4	2.3	3.6	
(ご参考) 前期実績 (平成29年1期)	29,167	2,010	2,067	1,226	341円03銭

(注) 平成29年8月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,583,583	4,255,654
受取手形及び売掛金	5,398,815	3,166,270
有価証券	2,100,410	1,400,930
商品及び製品	2,241,577	754,696
仕掛品	305,411	970,981
原材料及び貯蔵品	394,285	378,442
その他	222,956	249,444
貸倒引当金	△21,400	△12,600
流動資産合計	12,225,639	11,163,820
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,171,090	2,160,373
土地	3,234,338	3,234,338
その他(純額)	1,506,817	1,906,323
有形固定資産合計	6,912,246	7,301,035
無形固定資産	124,933	120,559
投資その他の資産		
投資有価証券	2,399,336	2,298,221
その他	884,753	923,459
投資その他の資産合計	3,284,090	3,221,681
固定資産合計	10,321,269	10,643,276
資産合計	22,546,909	21,807,097

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169,543	1,107,808
電子記録債務	1,873,222	1,016,802
短期借入金	1,850,000	1,850,000
未払法人税等	575,640	503,890
賞与引当金	239,950	240,080
その他	1,603,613	1,406,264
流動負債合計	7,311,969	6,124,844
固定負債		
退職給付引当金	365,467	349,373
環境対策引当金	7,236	4,286
その他	519,119	512,449
固定負債合計	891,823	866,109
負債合計	8,203,793	6,990,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,497	3,921,577
利益剰余金	5,867,028	6,506,685
自己株式	△244,931	△361,675
株主資本合計	13,281,061	13,804,056
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	771,915	721,947
土地再評価差額金	290,138	290,138
評価・換算差額等合計	1,062,054	1,012,086
純資産合計	14,343,116	14,816,142
負債純資産合計	22,546,909	21,807,097

(2) 四半期損益計算書  
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 2 月 1 日 至 平成28年 7 月 31 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年 7 月 31 日)
売上高	13,901,378	14,152,204
売上原価	7,143,835	7,134,327
売上総利益	6,757,542	7,017,876
販売費及び一般管理費	5,797,533	5,768,002
営業利益	960,009	1,249,874
営業外収益		
受取利息	1,318	304
受取配当金	25,863	28,823
利用分量配当金	32,170	23,570
その他	25,863	28,837
営業外収益合計	85,217	81,536
営業外費用		
支払利息	16,107	13,593
その他	5,173	4,574
営業外費用合計	21,281	18,168
経常利益	1,023,945	1,313,242
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	6,686	40,275
特別利益合計	6,693	40,275
特別損失		
固定資産除売却損	7,077	7,569
減損損失	3,347	—
特別損失合計	10,425	7,569
税引前四半期純利益	1,020,213	1,345,948
法人税、住民税及び事業税	377,543	436,279
法人税等調整額	5,601	18,445
法人税等合計	383,144	454,725
四半期純利益	637,068	891,223

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 2 月 1 日 至 平成28年 7 月 31 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成29年 2 月 1 日 至 平成29年 7 月 31 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,020,213	1,345,948
減価償却費	322,066	320,714
減損損失	3,347	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,990	130
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△24,281	△16,093
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,300	△8,800
支払利息	16,107	13,593
受取利息及び受取配当金	△27,182	△29,128
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,686	△40,275
固定資産除売却損益 (△は益)	7,070	7,569
売上債権の増減額 (△は増加)	2,382,781	2,232,544
たな卸資産の増減額 (△は増加)	638,334	837,153
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,005,289	△918,155
その他	△394,063	△336,803
小計	2,926,109	3,408,397
利息及び配当金の受取額	26,214	32,730
利息の支払額	△15,773	△13,913
法人税等の支払額	△228,700	△520,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,707,849	2,906,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△490,000	—
有価証券の取得による支出	△2,003,693	△1,401,496
有価証券の売却及び償還による収入	899,958	2,100,520
有形及び無形固定資産の取得による支出	△282,416	△595,377
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	—
投資有価証券の取得による支出	△2,587	△2,650
投資有価証券の売却及び償還による収入	44,721	73,673
その他	△51,269	△42,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,885,280	132,537
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△134,200	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△101,013	△116,663
配当金の支払額	△144,048	△250,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379,261	△366,772
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	443,306	2,672,071
現金及び現金同等物の期首残高	1,140,089	1,583,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,583,396	4,255,654

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式200,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取請求等による増加3,546株を加えて、当第2四半期累計期間において、自己株式が116百万円増加しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 補足情報

## 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年7月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	13,312,245	101.9
(内訳)		
干菓子群 (千円)	10,104,479	103.4
洋生菓子群 (千円)	2,760,930	96.7
その他菓子群 (千円)	446,835	101.5
喫茶・レストラン事業計 (千円)	839,959	100.8
合計 (千円)	14,152,204	101.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。 (キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。 (焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。 (デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。 (詰合せ) サマーロイヤルタイム、サマーイング、ハッピーパーティ等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。 (ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。 (半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。